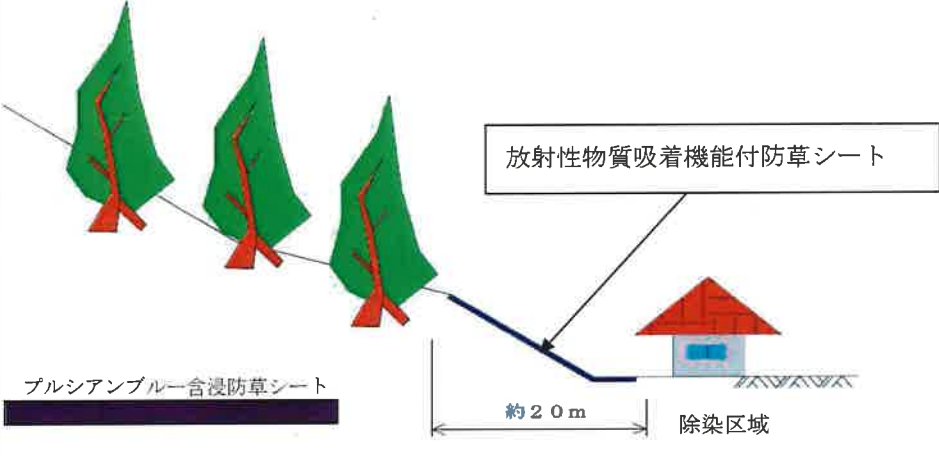


商品・工法名称	汚染物質流入による除染地域の防草及び次期除染軽減工法
商品・工法の分類	□瓦礫処理、■除染作業、□除染仮置き、□復旧・復興、■その他
商品・工法概要	<p>森林部と居住区域の境界部（約20m区間）や住居周りの広場を除染した後、除染区域に上流部や外周部より汚染物質を含んだ表流水や表土が流入し、再び除染が必要となる恐れが考えられる。そこで、除染区域に放射性物質吸着機能を持った防草シートを敷設することで、除染区域に汚染された草木が繁茂することを防ぐと共に、汚染水を浄化することができる工法。また、放射性物質を含んだ次期堆積物により再除染が必要になった場合、張り替えることで簡単に除染が可能となるので、作業効率向上により除染作業員の被曝低減が可能となる工法。</p>
商品規格・概略図等	 <p>The diagram illustrates the application of a radioactive substance adsorbing weed prevention sheet. It shows a slope with trees on the left, a 'Pulsian Blue' sheet (プルシアンブルー含浸防草シート) at the bottom, and a 'Decontamination Area' (除染区域) of approximately 20m near a house. A label points to the 'Radioactive substance adsorbing functional weed prevention sheet' (放射性物質吸着機能付防草シート).</p>
使用・施工条件 適応場所など	<p>基本的に除染後の斜面や住居周りに敷設する。二次除染が必要となる可能性の区域に敷設することで、除染作業の効率向上と作業従事者の被曝低減を目的とする。除染後草木類が繁茂したり堆積しても、放射線量が基準値を超える恐れのない場合は適用の必要はない。</p>
その他必要資材	<p>雨水や表流水は透過させるが、急激な増水による表流水により堆積物が区域外へ流出することが考えられるので、集水枡等の排水対策を別途考慮する。</p>
使用・施工上の 留意点	<p>除染後の斜面や住居周りに敷設する。放射性物質を含んだ雨水や表流水は浄化され浸透するが、落ち葉や流入土は区域外へ流出しないように窪地や平場を設け、ある程度堆積しやすくしておく。 防草シートとしての機能を満足させるために固定方法等に充分留意する。</p>
維持管理	<p>放射性物質を含んだ堆積物や浸透水により、空間線量が基準値を超え環境に影響があると判断された場合は、適時張り替える事で、除染と同等の効果を期待でき、作業従事者の被曝も低減できる。 張り替える場合は、除染ガイドラインに準じるものとする。</p>
経済性	1,050 円/㎡ (材料費のみ)
参考文献	<p>除染モデル事業等の成果報告書 除染関係ガイドライン 第一版</p>
問合せ先	<p>東洋紡績株式会社 スパンボンド事業部 石川、奥村 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア 電話03-6422-4858 FAX03-6422-4838 yuji_okumura@toyobo.jp http://www.toyobo.co.jp</p>